

# GIOMIC パフォーマンスブレーキライン 取扱説明書

## ■はじめにお読み下さい

この度は、弊社製品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。本書は、お客様に本製品を安全、確実に装着し、正しくご使用いただくうえでの注意事項を記しております。お取付け、ご使用になる前に必ずお読みいただき、内容を十分にご理解・ご確認をいただいたうえで取扱いください。なお、本製品の品質・安全性には万全を期しておりますが、誤った装着や利用方法によって受けられた損害について、弊社では一切の責任を負うことが出来ませんので予めご了承ください。また、本書は、本製品をご使用の際に常時保管、携帯していただき、譲渡、売却等の際には製品と共に渡してください。\*製品は付属品を含め、改良のため予告なく仕様を変更することがあります。

## ■適合

必ず適合車種を確認の上、取り付け作業を開始してください。

適合車種	R56	R56 JCW	R56 Rear	R60	R60 Rear
品番	51431	51432	51421	51433	51422

## ■取付けに要する時間

取付けには、約45分を要しますが、車両の状態や装備品の仕様により異なる場合があります。

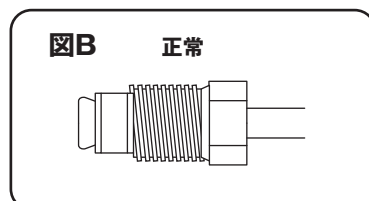
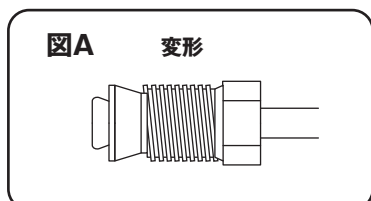
## 取り付け作業をされる方へ 安全に正確な作業をするために

### ⚠ 警告

●新基準車検対応“GIOMIC パフォーマンスブレーキライン”は、重要保安部品です。製品のお取り付けは認証工場など資格のある専門店か、有資格者による取り付けが法令で義務付けられています。●製品に問題がなく、取り付けや組み付けの不良、エア抜き不良による故障・事故による損害については、業者者、及び取り付け工場の責任になります。当社は一切の責任を負いません。●当製品の適合車両以外への取り付けや、製品本体の分解、加工、改造等を絶対に行わないでください。製品の性能が損なわれ、不具合が生じ、フルード漏れや製品本体の破損、事故等の原因になります。●純正ブレーキホースの取り外しは、各自動車メーカーが発行する純正のサービスマニュアルに従って、正確な作業をしてください。●各部のボルト・ナット、バンジョーボルト、フレアーナット等の脱着は、純正のサービスマニュアルに記載されている指定工具、専用工具を使用して、締め付けは、メーカーの指定する締め付けトルクで、正確に行ってください。●当製品の取り付けは、ブレーキキャリパーに固定するバンジョーフィッティングの取り付け角度指定や、ブレーキライン中間固定の位置指定など、車種ごとに取り付け方、取り回し方法等が指定されています。本書を遵守して正確な作業を行ってください。この取り付け指定が守られていない場合、ホースやフィッティングが他の部品と接触したり、ホースの長さ不足が発生したりして、ブレーキライン本体に大きな負担がかかり、フルード漏れやホース切れなどの重大なトラブルになる可能性があります。また、純正のブレーキホースとは、形状、レイアウト、取り付け方法が異なる場合もありますので、取り付け時に 本書で御不明な点がある場合は、必ず当社に確認して下さい。

### ⚠ 注意

●取り付けをされる前に、装着する車両が当製品の適応車両として適合をしていることを必ず確認してください。●適合以外の車両には使用出来ません。●純正ブレーキホース取り外しの際は、外した車体側のブレーキパイプに即時にメクラ（キャリパーのエアブリーダーに付いているゴムキャップ等を利用）をして、ブレーキフルードの垂れ流しを防止すると、後のブレーキフルードのエア抜き作業時間を短縮し、安全な作業が行えます。ブレーキフルードを全て垂れ流してしまいますと、マスターシリンダーから各ブレーキ系統全体にエアが廻り、ブレーキアシスト等が装着されている車両のエア抜きに、大変時間が掛かる場合がございます。また、ディーラーの設備が必要になる場合があります。当製品を取り付けの際は、まずキャリパー側を指定通りに取り付けて、ラインの取り回しをしてから、最後に車体側のフィッティングを、車体のブレーキパイプに上記で予め装着したメクラを外して、フレアーナットで接続することにより、ブレーキフルードの抜けを最小限に出来、装着車両の足廻りの汚れも防ぐことが出来ます。ブレーキフルードの交換は、全てのブレーキラインを取り付けて、作業が完了してから行ってください。●銅ワッシャは必ず付属の新品を使用して下さい。再使用はフルード漏れ等の原因になる場合があります。●バンジョーボルト、ウエイブクリップは、組み付ける前に必ず洗浄を行い、汚れを取ってから使用して下さい。外傷など本体に異常がある場合は新品と交換してください。●ブレーキパイプ側のフレアーナットは、車両の生産時に大きなトルクで締め付けられており、フレアーナット先端部分が図Aのように変形して（膨らんで）いる場合があります。先端を変形させる（膨らませる）事により、セルフロックの状態にすることが目的と思われませんが、変形が大きくブレーキラインのフィッティングに締め付けられない場合は、必ず図Bのように正常な形状に修正してから締め付けを行ってください。修正をせずに無理に締め付けを行うと、ネジ同士がカジってしまい、フレアーナットとブレーキラインのフィッティング両方共ネジ山を破損する場合があります。ブレーキパイプ全交換など大きな損害になる場合もあります。正しい修正の方法は、専用の特殊工具を使用してフレアーナットの先端を外周から平均的に締め付けて、正常な形状に戻します。特殊工具のない場合は、ヤスリ等で、フレアーナット先端の変形した（膨らんだ）部分の外周を正常に締め付け出来る外径まで削り落とす方法もありますが、削る量は最小限にしてください。



●当製品の装着後は、作業で脱着した各部品が正常に取り付け出来ているかを再度確認してください。また、車両をリフトアップして、サスペンションを最大限に伸ばした状態で、ハンドルを左右に一杯に切った際に、ブレーキラインのホースやフィッティングが、ボディやサスペンション、ショックアブソーバー、ドライブ シャフト、タイヤ、ホイールの内側等に接触していないか、ホースに無理な捻れが発生していないか、ホースが引っ張られていないかを、必ず確認してください。車両をリフトから降ろした定地状態でも、同様に上記全ての内容を確認してください。ブレーキラインが他の部分と接触がある場合や、ホースに無理な負担がかかった状態での取り付けは、フルード漏れやホース切れなど、重大なトラブルが発生する可能性があり、非常に危険ですからそのような症状がみられる場合は、実走行をする前に、必ず正常な取り付け方法に戻してください。

## ブレーキフルードエアの抜き作業について

**警告**

●ブレーキフルードのエア抜き作業は、各自動車メーカーが発行する純正のサービスマニュアルに従って、正確な作業を行ってください●エア抜き作業後は、ブレーキクリーナー等でブレーキ廻りに付着したブレーキフルード等を洗浄、十分に落としてください。その後、ブレーキペダルをカー杯に踏み圧力をかけた後に、各部にブレーキフルードの漏れ、滲みがないことを確認してください。●ブレーキライン交換後は、まず低速で試運転してブレーキペダルのタッチを確認してください。また、各車両の状態によっては、ブレーキペダルの踏み代が浅くなり、ブレーキランプスイッチの点灯タイミングの再調整が必要な場合がありますので、ブレーキペダルを踏んでストップランプが正常に点灯するか、必ず確認してください。

**注意**

●ブレーキフルードは再使用をせず新品を御使用ください。また、車両の塗装面に付着すると塗装の剥がれ等の原因になります。

## 装着後のお取り扱いについて

**警告**

●日常点検や定期点検整備は、法令で義務付けられています。ブレーキペダルの踏み代、ブレーキフルードの液量、ブレーキの効きなど、日常点検や定期点検整備を怠り発生した破損・事故などの損害について、当社は一切の責任を負いません。●走行中に車体下やブレーキ廻りに何かが当たり衝撃を受けた場合や、冬場のタイヤチェーン脱落時など、ブレーキ関係に外部からの衝撃が加わった場合は、直ちに安全な場所に停車してブレーキラインの破損や、フルード漏れ等を確認してください。異常がある場合はそのまま走行せずに、最寄りの自動車整備工場に修理を依頼してください。●当製品装着後に、足廻りやサスペンション、ブレーキ関係の改造をすることは特に注意が必要です。改造することによりホースやフィッティングが他の部品と接触したり、ホースの長さ不足が発生したりして、ブレーキライン本体に大きな負担がかかり、フルード漏れやホース切れなどの重大なトラブルの原因になりますので、十分に注意して作業をしてください。

**注意**

●当製品の交換時期は、ご購入から3年をお願いしています。(純正ブレーキホースの交換時期に準じます)●当製品は、用途に合わせた消耗部品です。日常点検を行い、ブレーキフルードの漏れ、各部の劣化や損傷が発生した場合は、そのまま使用せずに、新品と交換してください。●当製品を一般的な通常の条件において継続してご使用された場合の、経年劣化による損傷や機能上のクレームについては一切応じかねますので、ご了承ください。●凍結防止剤や海水は著しい腐食の原因となり、当製品の性能や寿命に悪影響を与える場合がありますので、付着の危険性がある場所での走行後は、必ず車体下廻りやブレーキ関係の洗浄をしてください。

## 作業時の注意事項と安全上の注意

**作業時の注意事項**

●ジャッキアップ及びリジットラックを使用する際は、必ず平坦な安定した場所で行なってください。また、リジットラック使用時であっても、車両の落下防止の為に安全ブロック等で安全対策を行なってください。●自動車メーカーが発行する車両解説書を熟読し、取り付け方法と注意事項を十分に理解した上で行なってください。●走行直後はエンジン本体、マフラー、ブレーキ等が高温になっています。火傷の危険性がありますので各部が十分に冷えてから作業を行なってください。

**安全上の注意事項**

●交換作業は設備の整った、資格ある専門店などに依頼してください。●装着後は100~200km走行後に再度貼り付けの確認を行い、外れ、ズレ等がないか点検してください。●製品を修理・分解・改造しないでください。製品が破損し、重大な損害につながるおそれがあります。また、その場合弊社は一切の責任を負いません。●本製品を使用中、異音・異臭等の異常を発見したらすぐにクルマを安全な場所に停車させ適切に処置してください。●装着後は、特に急激な操作を避けて慣らし運転を行なってください。

■アフターサービスについて サービスのご依頼、お問い合わせの必要がございましたら、お買い上げの店またはジオミックお客様窓口までご連絡ください。

## ●お客様ご相談窓口

ジオミック製品に関するお問い合わせ窓口

TEL: 052-684-9832 FAX: 052-684-4198 (電話受付時間: 定休日を除く / 10:00~18:00)

MAIL: support@giomic.com

会話形式で不安解消  
画像のやりとりも!



## 株式会社ジオミック

〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3丁目9-16 丸の内YSビル 6F

TEL: 052-684-9832 FAX: 052-684-4198

WEB

www.giomic.com

MAIL

info@giomic.com